

■ 脇村義太郎 経済学者。わが国における経営史研究の開拓者で、戦後改革や日本経済発展に主導的な役割を果たした。

わきむらよしとろう
比7/国産化・1900 = 和歌山県田辺市で脇村市太郎の長男に生まれる。

日露戦争終・1905 = 5歳：

伊藤博文暗殺1909 = 9歳：

明治天皇没・1912 = 12歳：

本格政党内閣1918 = 18歳：

原敬首相暗殺1921 = 21歳： 第三高等学校を経て，

護憲三派圧勝1924 = 26歳： 東京帝国大学経済学部商業学科を卒業。
金融恐慌・・1927 = 27歳： 同大学助手，

満州事変・・1931 = 31歳： 助教授から，

二二六事件・1936 = 36歳： 教授になる。

日中戦争始・1937 = 37歳：
健保+総動員 1938 = 38歳： <教授グループ事件>に連座して治安維持法違反容疑で起訴され，休職を余儀なくされたが，

日米開戦・・1941 = 41歳：

敗戦・・・・1945 = 45歳： *<敗戦>後，教授として復職，
貿易史・商業史(経営史)を講じ，
多くの委員会等で重責を担い，財閥解体や産業再編等，戦後改革や日本経済発展に主導的な役割を果たし，

独立回復・・1951 = 51歳： 経済学博士の学位を取得，
メーデー事件・1952 = 52歳： 「石油」，
この間，2度経済学部長を併任した。

自衛隊発足・1954 = 54歳： リベラルな見識と該博で堅実な学風で，専門分野では海運・造船，保険・金融等の重要産業や石油・綿花・砂糖等の国際商品を中心に，幅広く通商問題や独禁政策に及ぶ歴史的，実証的な研究を展開，これを基盤に経済学・会計学・技術工学を融合した独自の経営史学を形成し，わが国の経営史研究の開拓者となる。
なべ底不況・1957 = 57歳： 「中東の石油」，

安保闘争・・1960 = 60歳：
タイタイ病始・1961 = 61歳： *東京大学を停年退官し，名誉教授。

TV宇宙中継始1963 = 63歳： 藍綬褒章。
東京リボルブ 1964 = 64歳： 日本学士院会員。創設に尽力した{日本経営史学会}の初代会長に就任，

美濃部都知事1967 = 67歳： 「趣味の価値」，

ドルショック・・1971 = 71歳： 勲一等瑞宝章，
日中国交回復1972 = 72歳： 以降最晩年まで海事産業研究所の会長職にあり，三井文庫や日本経営史研究所にも役員として関係した。
石油ショック1973 = 73歳：

革新大敗北・1979 = 79歳： {日本経営史学会}名誉会長。「東西書肆街考」，

・・・1981 = 81歳：
リクルート事件・1988 = 88歳： 日本学士院院長に推される。
バブル崩壊・1992 = 92歳： 文化功労者。
自社さ連立・1994 = 94歳： *日本学士院院長を退任して，
金融破綻・・1997 = 97歳： 没した。